

## 山形県立図書館活性化基本計画(案)の概要

## 基本コンセプト

県民が集い・学ぶ

## 本のまち

新たな本との出会い  
「ときめく」  
図書館気軽に相談  
「たよれる」  
図書館ICTで幅広い情報と  
「つながる」  
図書館人の輪が  
「ひろがる」  
図書館

## 具体的方策

## 1. 大規模改修の実施

- 図書館エリアの拡大（1・2階計 3,390㎡ → 約 5,700㎡）
- 開架エリアの拡大（現在の開架冊数 178,000冊 → 400,000冊の開架可能へ）
- 閲覧席数の拡大（110席 → 200席以上）

&lt;1階&gt;

子どもや若者の利用を想定したエリアを多く配置し、BGMの導入など、気軽に訪れることができる空間とする。

- 子ども用エリア（授乳室） ○ ティーンズエリア ○ 新聞・雑誌エリア ○ デッキエリア
- カフェエリア ○ アクティブラーニングエリア ○ 総合カウンター及びコンシェルジュカウンター

&lt;2階&gt;

静かに読書や学習ができるエリアとし、1階に比べ静寂な空間とする。

- サイレントルーム ○ パソコン席 ○ 吹き抜け周辺カウンター

&lt;その他&gt;

- 利便性のよい駐車場の整備

## 2. ICT活用の充実

- 郷土資料等のデジタル化と公開
  - 市町村図書館・図書室とのネットワーク構築と連携強化
  - Wi-Fi環境の導入
  - ポータブル型の貸出処理端末機器の導入検討
  - デジタル書籍閲覧システム（web図書館）の導入検討
- ※平成28年2月25日よりICタグ・ゲートの運用開始（開架図書へのICタグ貼付完了）

## 3. 管理運営の充実

- 図書資料の充実
- 調査相談能力の向上と情報発信  
本のソムリエの導入・研修の充実・調査相談資料の充実等
- 市町村図書館・図書室と学校図書館への支援の充実
- 幅広い県民に利用しやすい開館日・開館時間の設定
- 多様な主体と連携した賑わいを創出する仕組みづくり
  - ・ 近隣商店街、大学コンソーシアムやまがた、読み聞かせ・子育て団体等との連携
  - ・ 地元製品の展示・即売、講演会の開催、産直市の開催等
  - ・ 書籍、雑貨等の常設の物販検討